

数学

東北大学 経済学部 (理系)・理学部 (後期)

<全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	6 題
------	-------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (**易化**・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

1は経済学部 (文系) **3**と共通の問題。 **4**は経済学部 (文系) **4**と共通の問題。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	微分・積分	数Ⅱ	(1) 4次関数のグラフと2点で接する直線の方程式と、3点を通る放物線の方程式を求める。 (2) 4次関数のグラフと放物線が囲む部分の面積を求める。	標準
2	整数	数A	整数の積がどんな整数の倍数になっているかについての証明問題。	易
3	数列 微分・積分	数B 数Ⅱ	数列の和の最小値を求める。	標準
4	確率 数列	数A 数B	動点の推移確率を、漸化式を解くことによって求める。	やや易
5	複素数平面	数Ⅲ	複素数平面上の原点を通らない2直線が交わるための条件を、この2直線に対して原点を対称移動させた点 α 、 β を用いて表す。	標準
6	微分・積分	数Ⅲ	(1) $\tan x$ の逆関数の導関数を求める。 (2) 定積分の数列について漸化式を作る。 (3) (1)(2)を用いてその数列の第3項を求める。	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

年度によって問題やセット全体の難易度が大きく上下することがあるが、そこには惑わされないうようにしたい。まずは教科書や傍用問題集などで各分野の基本をしっかり固めた上で、標準～やや難のレベルの問題で演習を重ねよう。

また、出題範囲の全ての分野に勉強の手を広げ、穴となる分野がないようにしたい。加えて、場合分けや数え上げの多い問題や計算量の多い問題にも積極的に立ち向かい、日頃から1題1題を最後まで解き切ることを意識して取り組んでほしい。